

## 修士の学位申請に関する手続き及び審査体制・基準等について

### 1 修士の学位

修士課程または博士課程前期課程に所定の期間在学し、当該研究科所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたのち、当該課程の目的に応じ、修士論文または特定の課題についての研究の成果の審査及び試験に合格した者は、その課程を修了した者とされ、修士の学位が授与されます。

### 2 修士論文審査体制・方法

#### (1) 審査体制

修士論文の審査は、研究科委員会の定める審査委員によって行います。

審査委員は、当該修士論文に関連ある研究領域の教員3名以上とし、主査を1名、副査を2名以上とします。ただし、特別の事情がある場合には副査を1名とすることがあります。

#### (2) 審査方法

##### ① 最終試験

修士の学位に関する最終試験は、修士論文の提出者の研究成果を確認する目的をもって、審査委員が修士論文を中心とし、試問の方法によって行います。試問は、口頭によりますが、筆答試問を併せ行うことがあります。

##### ② 審査期間

修士論文の審査及び最終試験は、当該修士論文の提出期限後3カ月以内に終了します。

##### ③ 審査結果

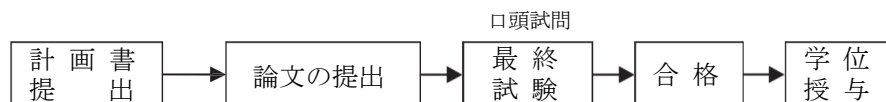
修士論文の審査及び最終試験の結果は、研究科委員会の承認を得て決定します。

### 3 修士論文審査基準

学位論文（修士）を評価する際には、次の点を考慮し審査を行います。

- (1) 問題意識が明確で、課題設定が適切であること
- (2) 先行研究を適切に検討、吟味していること
- (3) 研究目的に照らして研究・分析の方法が適切であること
- (4) 論文構成が的確で、論理展開に整合性、一貫性があること
- (5) 全体を通して社会的・学術的な意義が認められること

### 4 学位授与までの主な流れ



### 5 スケジュール

	提出期日・日程	
	3 月期学位授与	9 月期学位授与
論文計画書の提出	10 月中旬	4 月中旬～下旬
論文の提出	1 月中旬	7 月中旬～下旬
最終試験	2 月中旬	7 月下旬～9 月上旬

日程の詳細については、別紙「提出要領」を参照してください。

### 6 修士論文の提出要件

修士論文は博士課程前期課程に1年以上在学し、修了所要単位のうち20単位以上を修得した後、論文計画書を提出し、かつ、外国語の学力に関する認定に合格しなければ、提出することができません。外国語の学力に関する認定は、次の方法で行います。

#### 【心理学専攻】

- (1) 入学試験の際に受験した外国語をもって、外国語の学力に関する認定に合格したものとする。
- (2) 学内進学試験及び社会人・留学生入学試験の合格者は、入学試験の口頭試問における外国語の学力確認または指導教員による研究指導をもって外国語の学力に関する認定に合格したものとする。

【心理臨床学専攻】

- (1) 入学試験の際に受験した外国語をもって、外国語の学力に関する認定に合格したものとする。
- (2) 学内進学試験の合格者は、入学試験の面接試験における外国語の学力確認または指導教員による研究指導をもって外国語の学力に関する認定に合格したものとする。

7 修士論文計画書の提出

提出期の計画書（様式）は別紙を確認してください。

- (1) 一度提出した論文計画の変更は認めません。ただし、論文提出以前においては、指導教員の承認を得て「論題変更届」を提出すれば変更することができます。
- (2) 修士論文計画書を提出したにもかかわらず修士論文を提出しない場合は、指導教員の承認を得て、「修士論文提出の辞退について」を教務センターへ提出してください。